

第 53 回 企画展

むかしの暮らし

～ 台所の道具 ～



平成 24 年 7 月 5 日～9 月 30 日

岩手県立農業ふれあい公園

農業科学博物館

人々にとって食生活は欠くことのできないものです。そして、食生活の中心的な役割を果たしているのが台所です。台所は、文化の発達に応じて形を変え、時代によっても、地域によってもさまざまに変化してきました。

古来、日本人は、米、麦、粟、黍、豆の五穀をはじめ、木の実、山菜、海草、魚介、鳥獣など、実に多彩な食料を栽培、採取、捕獲し、それらを調整し、ときに貯蔵し、旬に合わせ調理し、よりよい食生活が営めるよう工夫をしてきました。

食べる営みのよりどころである台所には、昔の人々が日常生活の中からつくり、使いこなしてきた道具が多くあります。

今回の企画展では、むかしの台所で用いられた道具を展示し、これらの変化を知り、今後の暮らしを考えてみたいと思います。



岩手県立農業ふれあい公園

農業科学博物館

北上市飯豊3-110 TEL: 0197-68-3975

開館時間／9：00～16：30（入館は16：00まで）

休館日／月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）

入館料／一般290円 学生140円 高校生以下は無料

団体割引等（20名以上）あります

駐車場／大型バス12台 普通車240台 身障者専用5台